

November 18, 2022

小規模校英語教育研究会（SEESR）の立ち上げと

当会へのご協力の依頼

皆様

小中高すべての学校種で新しい学習指導要領が実施されるに至り、それに伴い様々な研修会等が行われています。しかしいわゆるへき地小規模校では、交通の便の問題等で十分な研修や指導助言等が受けられず、都市部の中大規模校とは情報の格差が生じているという状況も見受けられます。また一方で、新型コロナウイルスの感染拡大によりギガスクール構想が前倒しされ、全国の児童生徒に1台ずつのタブレット端末が準備されました。しかしまだこれら端末の有効活用については、議論の余地があるようです。

このような課題を踏まえ、直山木綿子視学官とも相談し、へき地小規模校と中大規模校の情報等の格差を是正し、先生方をサポートすることですべての学校で効果的な英語教育が実現できるよう、オンラインを活用した研究会（小規模校英語教育研究会, The Society for English Education in Small Rural Schools, SEESR）を立ち上げることと致しました。

この課題が解決できるよう、皆様と一緒に活動ができることを願っております。どうぞお力をお貸し下さい。よろしくお願い申し上げます。

発起人を代表して
長崎大学 副学長 中村典生

参考資料

(現状の課題)

- ・地方の小規模校の多くは交通が不便なへき地にあり、例えば中央で行われる研修会・研究会等に参加することすら困難である。
- ・コロナ禍もあり前倒しでギガスクールが実現し、1人1端末が確保されたが、有効活用にはなかなか至らない現状がある。
- ・小規模校では人間関係が膠着化するため、コミュニケーション相手の確保に加え、授業で活発なコミュニケーションを行うための工夫が大変重要となる。
- ・地理上の問題もあり、小規模校では周囲の学校との連携が取りにくい環境にあることが多々ある。
- ・以上のような現状の課題を解決するための何らかの方策が必要である。

(小規模校英語教育研究会立ち上げの理念)

- ・へき地小規模校における課題を解決するために、専門的な知識を有するものが集まるしかるべき組織を立ち上げる必要がある。
- ・この組織は小規模校英語教育研究会 (The Society for English Education in Small Rural Schools, SEESR) (仮) と称する。
- ・小規模校の現状を鑑み、小規模校英語教育研究会は主としてオンラインを通じて、日本の英語教育、特に小学校英語教育と小中連携の支援を行うことを目的とする。

(SEEER が行う主な事業 (案))

1. 全国実践研究大会、および、その他の研修会・講演会・セミナー・ワークショップなどの開催。
2. 小規模校同士の効果的つながりを作り共同で授業等を行うための支援。
3. 小規模校における課題を解決するための個別面談。
4. 実際に現地に出向いての支援。
5. その他必要な事業。